

市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部署名	産業環境課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立		
事業内容	観光客の誘客を図るため、観光プロモーションツール(観光パンフレット、観光PR映像及び観光ポスター)を制作した。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		(a)当初予算額	13,925				
	(b)予算現額	11,348					
	(c)増減額(b-a)	▲2,577	0	0	0	0	
	(d)繰越額						
	A.計(b+d)	11,348	0	0	0	0	
	B.執行済額	10,985					
	うち交付金充当額	8,788					
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	96.8%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		公募型プロポーザルによる契約実績額により予算を2,577千円減額した。不用額363千円については、当初ワークショップの開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりワークショップを中止したため、その分の契約額減額に伴う不用額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光パンフレットの制作	目標	(制作)	( )	( )	( )	
		実績	完了				
	観光PR映像の制作	目標	(制作)	( )	( )	( )	
		実績	完了				
	観光ポスターの制作	目標	(制作)	( )	( )	( )	
実績		完了					
達成状況説明	計画通り実施し、目標を達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(R4年度)
	・観光PR映像の完成 ・観光パンフレットの完成 ・観光ポスターの完成	目標	( )	(完成)	( )	( )	( )
		実績		完成			
	【参考指標】 町入域観光客数 792千人以上	目標	( )	( )	( )	( )	(792千人)
		実績					
進捗状況説明	予定通り観光プロモーションツール(観光パンフレット、観光PR映像及び観光ポスター)が完成した。						

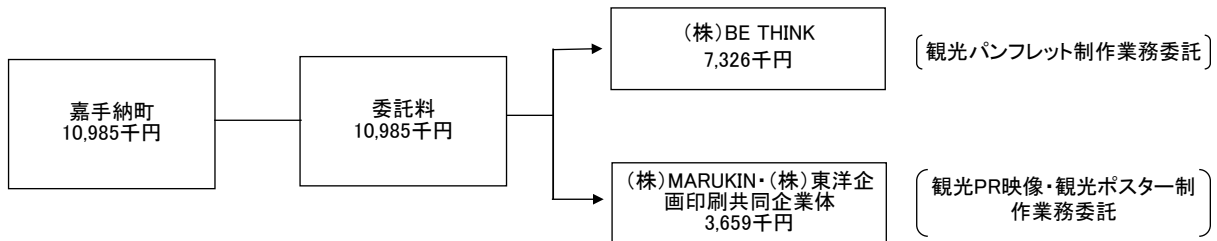
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作したプロモーションツールを活用し、町内の観光資源をPRし、本町を知ってもらう機会を創出していく必要がある。</li> <li>紙媒体を使ったPRや本町の大型ビジョンでの放映だけでは、新型コロナウイルス感染症拡大などの社会情勢の影響を受けやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>制作したプロモーションツールを効果的に活用するため、プロモーション活動のノウハウをもった事業者の活用を検討する。</li> <li>紙媒体だけでなくSNSなどのインターネットを活用し、本町はもとより、沖縄に来訪しなくても情報を手に入れられるような情報発信方法を検討する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- 公募型プロポーザルにてプロモーション活動を委託し、ノウハウをもった事業者の創意工夫を最大限に引き出し、効果的なプロモーションを行う。
- 本町のホームページやSNSでの発信のほか、町内事業者の協力を得て、町内事業者からも情報発信を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,985	10,985	8,788	2,197	0



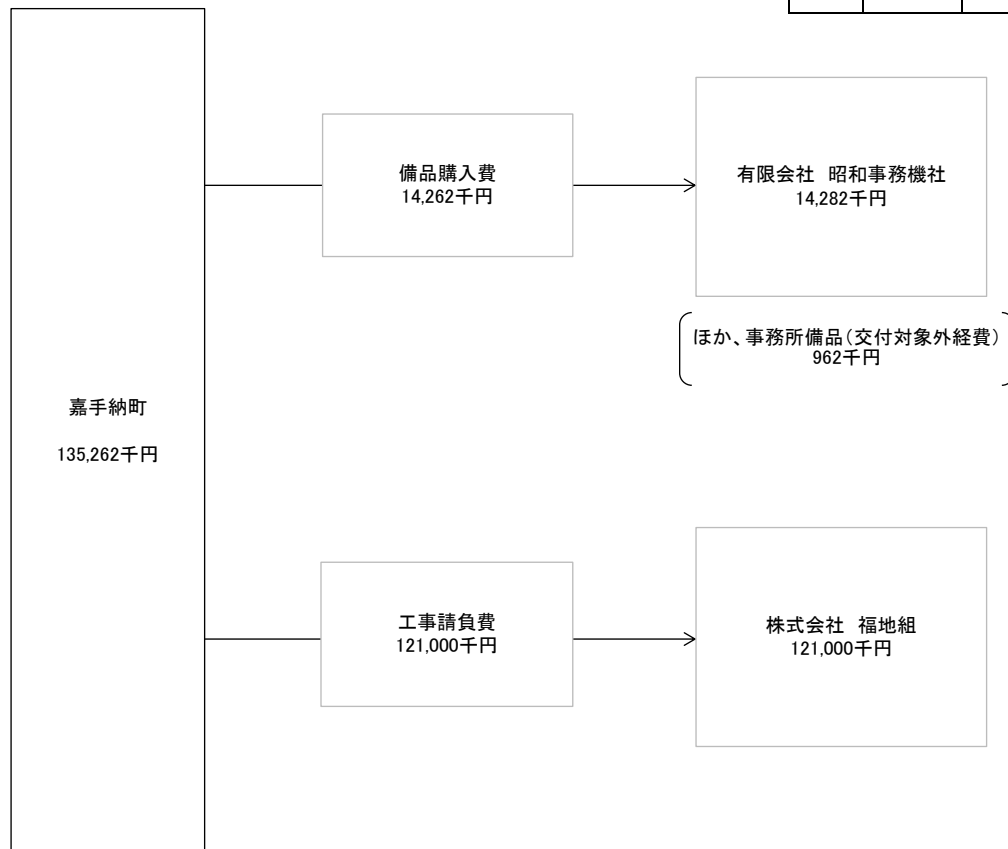
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	比謝川緑地広場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
担当部課名	都市建設課 施設建設係		事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備	
事業内容	観光誘客を図るための、比謝川緑地に自然体験・交流拠点施設や広場等を整備する。						
効果発現年度	■当年度                      ■後年度(令和4年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
		(a)当初予算額	44,282	77,239	353,100		143,045
	(b)予算現額	34,480	76,395	343,540		135,262	
	(c)増減額(b-a)	9,802	▲844	▲9,560		▲7,783	
	(d)繰越額	—	—		218,008		
	A.計(b+d)	34,480	76,395	343,540	218,008	135,262	
	B.執行済額	34,479	49,915	125,532	218,008	135,262	
	うち交付金充当額	27,583	35,297	100,425	99,816	108,209	
	次年度繰越額	—	—	218,008	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	65.3%	36.5%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	入札残により7,783千円の減額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	進入路、通路の整備工事の実施	目標	(実施設計を取りまとめる)	(進入路、通路の整備工事の実施)		( )	
		実績	実施設計を取りまとめた。	進入路、通路の整備工事の完了			
	自然体験センター建設工事の実施	目標	( )	( )	(自然体験センター建設工事の実施)	( )	
		実績			自然体験センター建設工事の完了		
外構整備工事の実施	目標	( )	( )	( )	(外構整備工事の実施)		
	実績				外構整備工事の実施		
達成状況説明	目標どおり外構整備が完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	進入路、通路の整備工事の完了	目標	( )	進入路、通路の整備工事の完了	( )	( )	( )
		実績		進入路、通路の整備工事の完了			
	自然体験センター建設工事の完了	目標	( )	( )	自然体験センター建設工事の完了	( )	( )
		実績			自然体験センター建設工事の完了		
	外構整備工事の完了	目標	( )	( )	( )	(外構整備工事の完了)	( )
		実績				外構整備工事の完了	
【参考指標】年間利用客数:延べ12,400人以上	目標	( )	( )	( )	( )	(12,240人)	
実績							
進捗状況説明	目標どおり外構整備が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>当事業について関する情報の周知活動を徹底する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報等で事業の周知を図る。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業について、広報やHP等での情報を強化する。</li> <li>施設の運営方法等について、他事例などの情報を収集し、目的に合った運営方法を選択する。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
#####	135,262	108,209	27,053	962

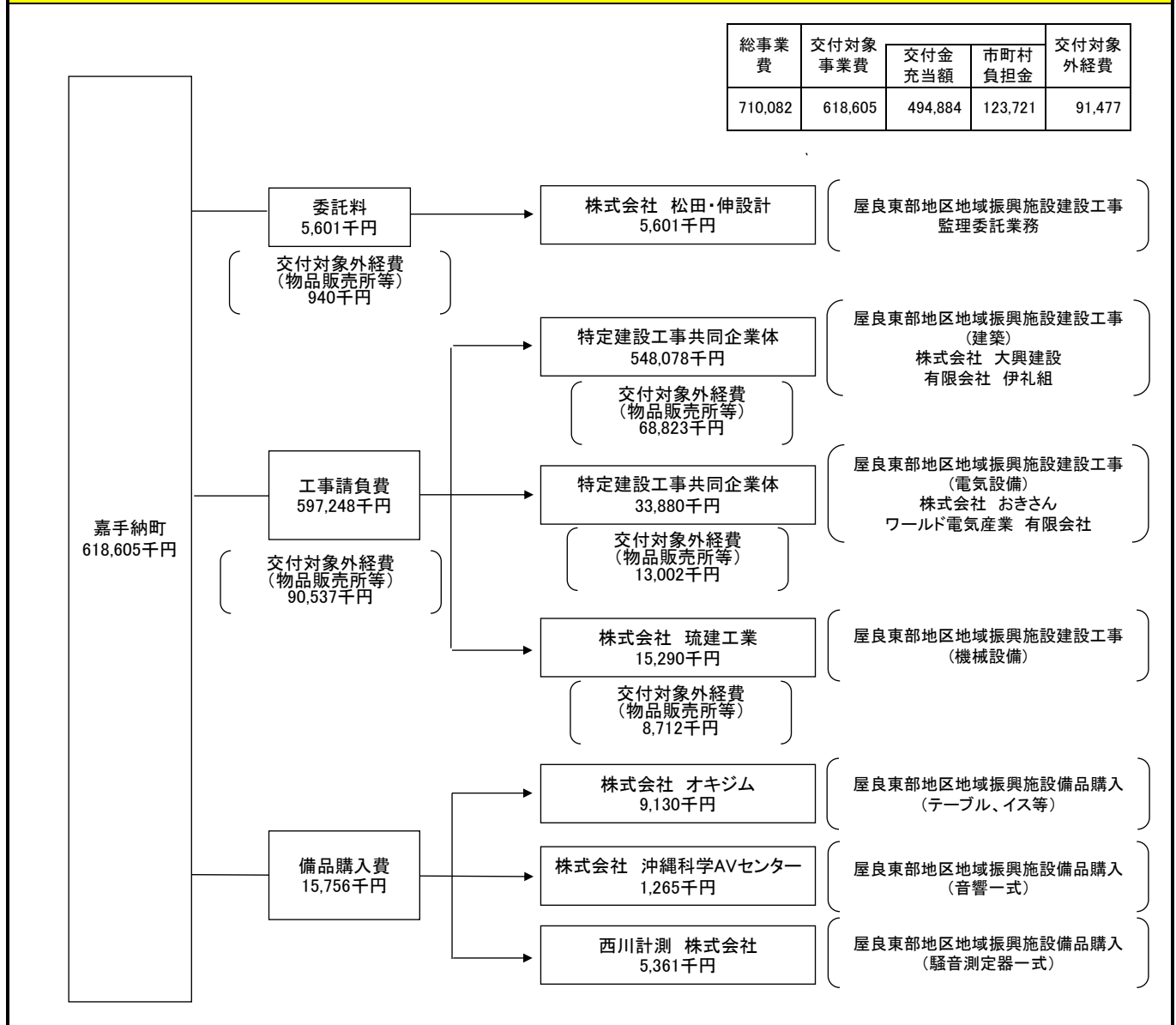


資金の 用途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支出先の選定方法については、事業の規模や実績等を勘案し、指名審査委員会にて決定したため妥当である。</li> <li>予算規模については、入札残で7,763千円減となったことにもない、交付金交付額の変更を行ったため適正である。</li> <li>費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	屋良東部地区地域振興施設機能拡充事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	施設利用者の増加を図るため、地域振興施設の機能拡充(展望所、広場の拡張、飲食物販施設の増築及び駐車場整備等)を行う。						
効果発現年度	■当年度      ■後年度(令和4年度)						
実施方法	■直接実施    ■委託    □補助    □負担    □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	79,201	23,200	65,094	235,832	619,123
		(b) 予算現額	49,954	23,492	70,645	164,236	618,605
		(c) 増減額(b-a)	▲ 29,247	292	5,551	▲ 71,596	▲ 518
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	49,954	23,492	70,645	164,236	618,605
		B. 執行済額	49,689	23,476	65,154	164,236	618,605
		うち交付金充当額	39,751	18,780	36,044	131,388	494,884
		次年度繰越額	—	—	—	—	—
		執行率(%) (B/A)	99.5%	99.9%	92.2%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	当初予定していた備品を一部変更したこと及び入札残(518千円)による減額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	建築物・外構工事の実施	目標	(実施設計(その2)の策定)	(外構工事の実施)	(建築物の実施)	(建築物・外構工事の実施)	
		実績	実施設計(その2)の完了	外構工事の完了	建築物の完了	建築物・外構工事の完了	
		目標	( )	( )	( )	( )	
	実績						
達成状況説明	令和3年度分の工事として、建築物、電気設備工事、機械設備工事を予定通り実施し、竣工した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	建築物・外構工事の完了	目標	( )	(外構工事の完了)	(建築物の完了)	(建築物・外構工事の完了)	( )
		実績		外構工事の完了	建築物の完了	建築物・外構工事の完了	
	【参考指標】 施設の来訪者数 77.9万人以上/年	目標	( )	( )	( )	( )	(77.9万人)
		実績					
進捗状況説明	機能拡充事業が竣工した。 テーブルやイスなどの必要な備品を購入した。 4月にリニューアルオープンを予定しているため、施設内でオープン予定時期の張り紙の掲示をし、周知を行ったほか、指定管理者やテナント等と調整を行い、町ガイドブックへの掲載した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設が機能拡充された情報を町内はもとより、県内外へ発信していく必要がある。</li> <li>指定管理者と機能拡充部分を含む施設管理運営方法を共有する必要がある。</li> <li>4月より新規テナントの営業が開始されるため、新規テナントを含む全テナントと協力体制を構築する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町ホームページやSNSのほか、民間事業者の情報発信のノウハウを活用する。</li> <li>指定管理者より定期的に意見を聴取し、または協議を行い、施設の状況を把握する。</li> <li>全テナントと協力体制を構築し、テナントからの意見を聴取できるようにする。</li> </ul>
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光プロモーション事業の受託事業者と連携し、県内外へ情報発信を行い、観光客の誘客を図る。</li> <li>指定管理者と密に連携を行い、施設の状況を把握し、適切な管理運営を行っていく。</li> <li>新規テナントを既存のテナント会への加入を促し、全テナントと協力体制を構築し、テナントと連携できる環境を整える。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：千円)



資金の流 れの点 検評 価目・使	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、指名競争入札にて選定しているため妥当だと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目及び使途については、完了検査において確認しており、適正であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進			
事業内容	児童生徒の学力向上を図るため、教師と連携を図りながらチームティーチングを行うとともに、夏休み等に個別指導や放課後の補習授業を行う学習支援員を小中学校に配置した。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		13,201	13,221	13,226	17,983	17,421	
			12,082	12,599	12,935	16,017	14,442	
			▲ 1,119	▲ 622	▲ 291	▲ 1,966	▲ 2,979	
			12,082	12,599	12,935	16,017	14,442	
			11,993	11,827	11,242	16,017	14,442	
			9,594	9,461	8,993	12,048	11,553	
			99.3%	93.9%	86.9%	100.0%	100.0%	
	予算の状況の説明	一部の雇用者で欠勤が生じたことと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	学習支援員配置数 小学校:4人 中学校:2人	目標	( 小学校4人 中学校1人 )	( 小学校4人 中学校1人 )	( 小学校4人 中学校2人 )	( 小学校4人 中学校2人 )		
		実績	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校1人	小学校4人 中学校2人	小学校4人 中学校2人		
		目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )		
		実績						
	達成状況説明	・学習支援員を本町小学校に4名(各学校2名)、中学校に2名配置した。 ・小学校においては、学級担任とのチームティーチングとして個別の対応や放課後の補習指導を行った。 ・中学校においては、学習内容の定着が十分でない生徒を対象に、学級内で個別のチームティーチングを通じての学習支援や放課後(毎週月、水)、長期休業中の補習、数学検定対策講座をおこなった。 ※チームティーチング:複数の教職員が役割を分担し、協力し合いながら指導する方法。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率の差		目標	(                    )	( 小:-4.8 中:-7.0 )	( 小:-4.4 中:-9.3 )	( 小:-4.1 中:-7.5 )	(                    )
	小学校:-4.1ポイント以上 中学校:-7.5ポイント以上		実績		小:0 中:-2.2	小:-0.1 中:-7.4	小:+5.1 中:-3.8	
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績						
	進捗状況説明	沖縄県到達度調査の県平均と比較すると、小中どちらも目標値を達成することができた。 令和3年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・小学校...小5算数:県平均52.5%、本町57.6%【+5.1ポイント】 ・中学校...中2数学:県平均39.9%、本町36.1%【-3.8ポイント】 学習支援員と管理者が支援の在り方を共有する場を設定できた。						

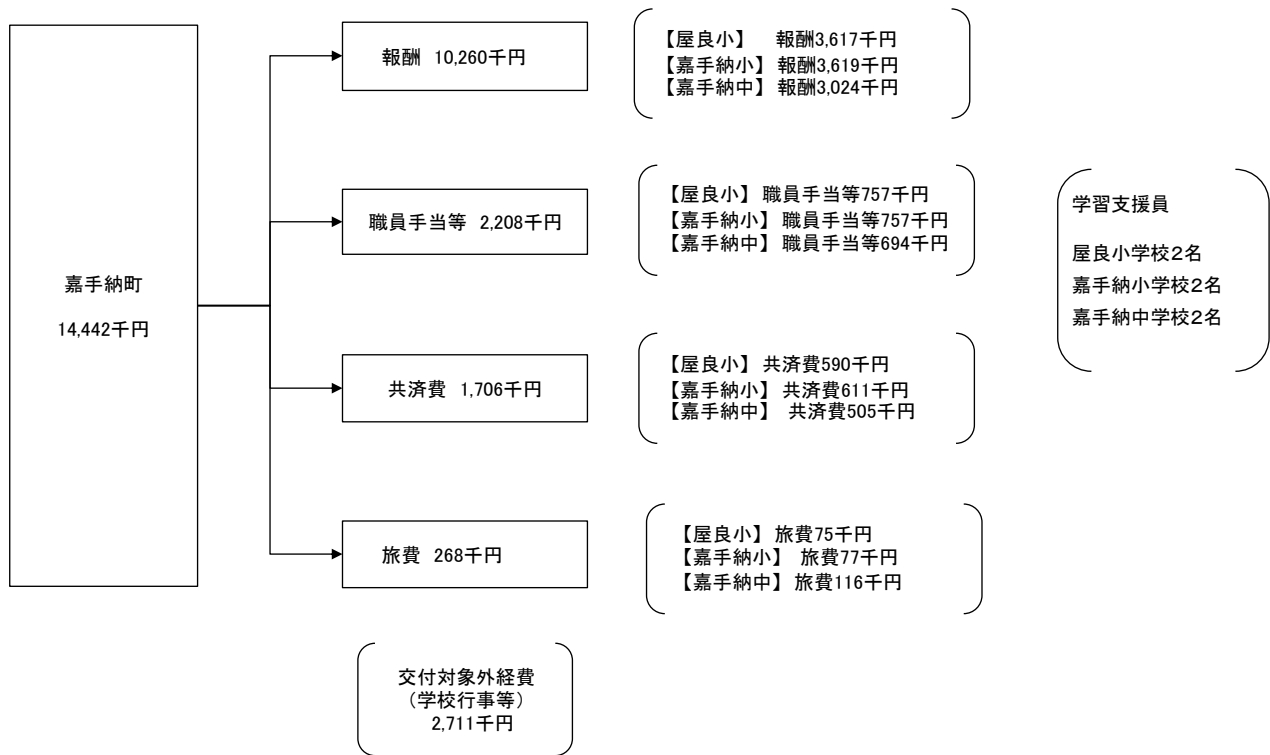
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①小学校においては、+5.1と県平均をかなり上回り、目標を達成した。学級担任が授業を進めながら、学習支援員が、対象生徒を1カ所に集めての個別指導を行うという体制が整い、給食の時間や放課後などでの学習支援員を適切に活用した補習がなされていた。</p> <p>②中学校においても年々改善が見られ、県平均に近づき、目標値をクリアしている。学習支援員が対象生徒に案内状を送ったり、補習内容の掲示をすることで、生徒が主体的に補習に参加するような取り組みをおこなった。</p> <p>③新型コロナウイルスの影響による臨時的な休校で学習の定着が不十分な生徒が多くなることが予想される。</p>	<p>①今後も対象生徒の明確化と授業における学習支援員の役割認識を強化し、成果の出た取り組みを広め実践を促す助言を行っていく必要がある。</p> <p>②適切な補習時間の設定や授業のなかでの学習支援員の活用の仕方、効果のあった取り組みの継続を図る必要がある。</p> <p>③新型コロナの影響で補習の時間が十分に確保されず、授業において定着が不十分な生徒がいたためその生徒に対応する時間を確実に確保する為に低学年、中学年、高学年に一人体制で行うために、支援員を増やす必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

- ①学習支援員の役割を再認識させるとともに授業時の支援の在り方について管理者と共有する場を年2回設定する。
- ②教育委員会が担当教諭、管理者と支援員の活用について協議の場を設け、学習支援員の役割、対象者、活用にあたっての前年度の課題について協議し、学習支援員の活用が効果的に行われるように、指導体制の統一・強化を図る。
- ③定着が不十分な生徒や学習に不安をもつ生徒を対象とした放課後や授業中での定着が不十分な生徒への補習を子に応じた指導に繋げる為に低学年、中学年、高学年事に補習を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
17,153	14,442	11,553	2,889	2,711



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、報酬と職員手当、共済費、旅費のみであり、支援員配置事業に必要なものに限定されている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	英語力強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	教育課程特例校として小学校では英語に親しむ環境をつくり、中学校は実用的な英語を学ぶため、英会話指導員を配置し、同時に中学校は個別の学習支援、英会話の実践化のための英語指導員を配置し、児童生徒の英語への興味・関心を高め、英語力向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	17,865	18,074	18,277	13,358	12,371
		(b) 予算現額	17,136	16,919	17,686	12,179	9,497
		(c) 増減額(b-a)	▲ 729	▲ 1,155	▲ 591	▲ 1,179	▲ 2,874
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		17,136	16,919	17,686	12,179	9,497
	B. 執行済額		16,489	16,288	15,636	12,179	9,455
	うち交付金充当額		13,191	13,030	12,508	9,127	7,563
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.2%	96.3%	88.4%	100.0%	99.6%
予算の状況の説明		一部の雇用者で欠勤が生じたことと、新型コロナの影響で休業期間があり、対象外期間があった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	英会話指導員配置数 小学校3人、中学校1人	目標	( 小学校3人 中学校2人 )	( 小学校3人 中学校2人 )	( 小学校3人 中学校1人 )	( 小学校2人 中学校1人 )	
		実績	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校2人	小学校3人 中学校1人	小学校2人 中学校1人	
	英語指導員配置数 中学校 1人	目標	( 中学校1人 )	( 中学校1人 )	( 中学校1人 )	( 中学校1人 )	
		実績	中学校1人	中学校1人	中学校1人	中学校1人	
達成状況説明	英会話指導員(ALT)を小学校2名、中学校1名に、英語指導員を中学校に1名配置した。小学校では、学級担任とALTとで連携し外国語の授業及び外国語活動の展開している。中学校では、担当教師とALT、英語指導員で、英会話の授業を展開している。また、中学校では放課後の学習支援並びに英検対策講座をおこなっている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	①(小学校) 英語に対する興味・関心が高まったか(80%以上)を含め、本人のアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	( )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	( )
		実績		73%	75%	80%	
	②(中学校) 英語検定3級以上を保有する生徒の割合	目標	( )	( 8.0% )	( 6.5% )	( 14.0% )	( )
		実績		16.30%	13.20%	12.2%	
	③(中学校) 沖縄県学力到達度調査において、県と本町との平均正答率(英語)の差	目標	( )	( -5.1 )	( -5.2以上 )	( +4.6以上 )	( )
実績			+11.1	-5.4	+4.7		
進捗状況説明	・小学校においては、児童のアンケートで「英会話の授業が楽しいですか」の項目で、80%の児童が楽しいと答え目標値を達成した。 ・中学校においては、3級以上を保有する生徒の割合は12.2%となり目標値を下回った。 ・沖縄県到達度調査の県平均との比較については、目標値を上回った。 令和3年度 沖縄県到達度調査(2月)の結果 ・中学校・・・英語:県平均54.3%、本町59.0%【+4.7ポイント】						

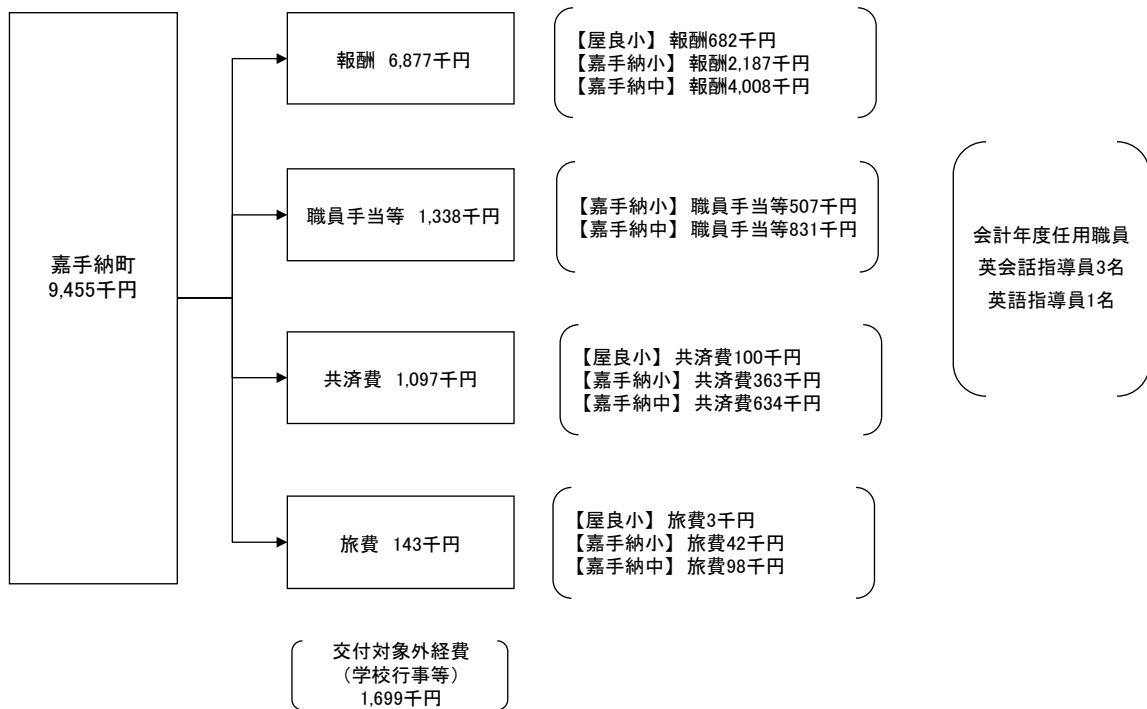
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①小学校のアンケート結果について、興味関心の高まりでは両校共に前年度の75%から80%とさらに向上している。</p> <p>②中学校においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策等で英検の補習や夏季休業中の対策講座などが十分に実施できず、また受験者数が前年同様減となり、保有する生徒の割合は-1.0ポイント目標値を下回った。</p> <p>③沖縄県学力到達度調査について、県平均を+4.7と目標値を回った。</p> <p>④臨時的な休校で学習の定着が不十分な生徒が多くなることが予想される。</p>	<p>①効果的な授業方法の共有が両小学校で必要である。アウトプットを中心とした授業改善をおこない、児童の英語に対する関心意欲を高め、英語に親しむ環境を整える必要がある。</p> <p>②英検取得への意欲を高めるため、英検の取り組み啓発や周知を強化し英検対策講座や補習を実施し参加者を多くする取り組みを強化する必要がある。</p> <p>③臨時休校等の予定授業数削減のなかでも、授業のなかでアウトプットを中心とした授業の展開に関しては積極的に取り組むことを推進させる必要がある。</p> <p>④放課後において、定着が不十分な生徒への対応の時間を確保し、対象の生徒を明確にした取り組みを推進する必要がある。</p> <p>⑤新型コロナウイルス感染予防対策を実施。</p>

**今後の取り組み方針**

- ①効果的な授業法の共有のために小中学校ALT、英語担当教諭を対象とした「外国語授業研修会」を実施する。
- ②今後も中学校においては、実用英語の能力向上や、英検の特徴とメリットの啓発や周知を工夫強化することで、英検取得への意欲を高め、受験者数の増加を図る。また、放課後や夏季休業中の対策講座の開催機会を増やしたり、過去問の随時配布や講座内容の充実を図る。
- ③「外国語授業研修会」を実施し、授業のなかでのアウトプットの場面の設定を促すことで、生徒の英語活用力を高め目標値達成を図る。
- ④英語の基礎の定着が不十分な生徒や学習に不安をもつ生徒を対象とした時間を放課後に確保し、英検対策と授業の補習もあわせて実施することで相乗効果を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,154	9,455	7,563	1,892	1,699



資金の流 れ、費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指導員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、報酬と職員手当、共済費、旅費のみであり、指導員配置事業に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	ICT活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進		
事業内容	情報活用能力の育成や学校における情報化を推進するため、情報機器等の操作能力の向上を支援するICT支援員を配置することにより、教員のICT機器の習熟度及び学校教育の質を確保した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	7,080	7,091	7,093	5,763	5,282
	(b) 予算現額	6,753	6,628	4,585	4,858	4,673	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 327	▲ 463	▲ 2,508	▲ 905	▲ 609	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	6,753	6,628	4,585	4,858	4,673	
	B. 執行済額	6,751	6,628	3,990	4,858	4,543	
	うち交付金充当額	5,401	5,303	3,192	3,648	3,634	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	87.0%	100.0%	97.2%	
予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響で休業期間があり、対象外期間があった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	パソコン指導員配置数:2人(小中学校共有2人)		目標 ( 小学校2人 中学校1人 )	( 小学校2人 中学校1人 )	( 小学校1人 中学校1人 )	( 小学校1人 中学校1人 )	
			実績 小学校2人 中学校1人	小学校2人 中学校1人	小学校1人 中学校1人	小学校1人 中学校1人	
			目標 (      )	(      )	(      )	(      )	
		実績					
達成状況説明	小学校に1名のパソコン指導員を配置し月ごとに曜日を決めて2校の巡回での指導を行った。中学校には1名配置とした。PC教室の環境づくりや関連機器の準備、電子黒板の活用アイデアの提供を行った。授業の際は、児童生徒への機器操作の指導を補佐した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。		目標 (      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
			実績	88%	93%	89.6%	
	教員にアンケートを実施し、ICT支援員(パソコン指導員)の配置により、授業でのICT機器活用が促進された内容項目での肯定的な割合(80%以上)を含め、アンケートにより効果を検証する。		目標 (      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
			実績	60%	81%	86%	
進捗状況説明	ICT機器を活用した授業を分かりやすかったと肯定的に回答した児童生徒の割合は89.6%となって目標値を達成している。教師のICT機器の使用に関しては「ほぼ毎日」と回答した教師は、85%であり、パソコン指導員から支援を受けたことに対して「よく受けている」80%、「たまに受けている」10%との回答があった。支援を受けた教師は、「準備」65%、「説明を受けた」17%、「活用時の補助」6.8%などの支援を受けている。また、ICT支援員の必要性については、90%の教師が「必要である」と回答している。ICT支援員は放課後の時間にパソコン教室において学習支援ソフトが使用できるように管理し支援を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①令和2年度末に児童生徒に1人1台の端末が整備され、子ども達がパソコンを扱う頻度が格段に多くなることが想定される。 ②端末の整備にともない学習支援ソフトが整備されたので、操作や活用方法に関する児童生徒や先生方からの問い合わせが増えることが予想される。 ③新型コロナウイルスの感染拡大等による臨時の休校等に伴い、ICT機器を活用した動画配信やオンデマンド学習授業などの対応が想定される。	①児童生徒の授業中における端末操作や入力等の支援や、先生方からの問い合わせ等に対応できる体制を構築する必要がある。 ②整備した学習支援ソフトの活用を促進する必要がある。 ③臨時休業に対応できるように、パソコン指導員は先生方の自宅からの動画配信やオンライン授業、不登校の生徒とのオンライン授業に関する情報を収集しておく必要がある。
今後の取り組み方針		
①児童生徒の授業中における端末操作や、先生方のICT機器の活用スキルのさらなる向上を図るため、指導員を中心にICT機器操作や活用に関する相談対応を随時実施する。 ②学習支援ソフトを活用して授業内容の充実が図れるよう、授業中における担任教師とチームティーティングや放課後等に児童生徒に対して個別に支援を行う。 ③臨時休校等で遠隔授業が必要となる場合は、支援員は、オンライン授業の実施に向けた授業動画の制作、動画配信、オンライン授業実施時における教師の支援に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	5,136	4,543	3,634	909	593
<pre>           graph LR             A[嘉手納町 4,543千円] --&gt; B[報酬3,279千円]             A --&gt; C[職員手当等671千円]             A --&gt; D[共済費548千円]             A --&gt; E[旅費45千円]             A --&gt; F[交付対象外経費 (学校行事等) 593千円]                          B --- B1["【小学校】 報酬1,638千円 【中学校】 報酬1,641千円"]             C --- C1["【小学校】 職員手当等257千円 【中学校】 職員手当等414千円"]             D --- D1["【小学校】 共済費264千円 【中学校】 共済費284千円"]             E --- E1["【小学校】 旅費45千円"]                          B --- G[パソコン指導員 2名]             C --- G             D --- G             E --- G           </pre>					

資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指導員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、報酬と職員手当、共済費、旅費のみであり、指導員配置事業に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	不登校対策生徒指導支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-イ	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	豊かな心とたくましい体を育む教育の推進		
事業内容	不登校の生徒に対して家庭や関係機関と連携を図りながら特別な支援をしていくことで、学校復帰等の不登校の改善を図るため、指導支援員を配置した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	3,481	3,540	3,541	2,194	2,341
	(b) 予算現額	2,589	3,151	3,566	2,152	2,300	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 892	▲ 389	25	▲ 42	▲ 41	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	2,589	3,151	3,566	2,152	2,300	
	B. 執行済額	2,589	3,151	3,565	2,148	2,100	
	うち交付金充当額	2,071	2,520	2,852	1,622	1,679	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%	91.3%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルスの影響で休業期間があり、対象外期間があった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	生徒指導支援員配置数 中学校:1人	目標	( 中学校2人 )	( 中学校2人 )	( 中学校1人 )	( 中学校1人 )	
		実績	中学校1人	中学校1人	中学校1人	中学校1人	
		目標	(            )	(            )	(            )		
		実績					
達成状況説明	中学校へ不登校対策生徒指導支援員を配置し、生活リズムの崩れた不登校生徒へ登校支援や生活指導、悩み相談を実施した。また、登校しても学級へ復帰できていない生徒に対して校内での居場所づくり、学習支援等の支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	不登校出現率	目標	(            )	(            )	( 2.2%以下 )	( 2.3%以下 )	(            )
		実績				2.3%	2.1%
	【参考指標】 不登校生徒復帰率 25%以上	目標	(            )	( 25% )	(            )	(            )	(            )
実績			16%				
進捗状況説明	令和4年3月末の不登校生徒数は、中1(2名)、中2(2名)、中3(6名)の計10名で年間を通した数値での出現率は2.1%(3月時点で生徒数475名)となり、目標値より-0.2%で目標を達成している。 登校復帰を果たしている生徒は1名である。また不登校生徒数のうち令和3年度の新規不登校は0名であり、新たに不登校となる生徒が抑えられている。 理由なし欠席3日以上の子生徒への家庭訪問や欠席が続く生徒の定期的な家庭訪問など登校支援を実施できた。						

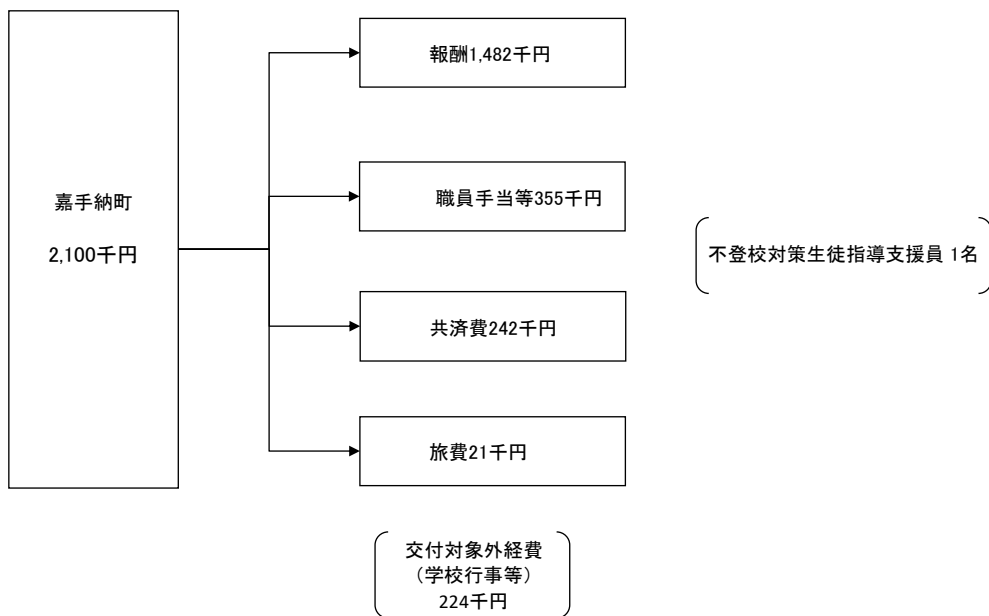
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①不登校生徒の要因として「無気力でなんとなく登校しない」「迎えにいたり強く催促すると登校するが長続きしない」等の無気力の傾向が多く見られる。 ②不登校の解決に向けて生徒の家庭、学校との関係作りが重要である。 ③学校へ登校したときに居場所が十分に確保できていない。	①無気力傾向の不登校の解決に向けては、SSWと共同で成功体験による自己肯定感を高める体験活動等について研究を行い、内容を充実させる必要がある。 ②学校から家庭との連絡を密にするなど、生徒に対する家庭との連携の強化を図るとともに、SSWとの生徒に関する情報交換・共有を密にした内容を踏まえた家庭との関係作りを深めていく。 ③学校へ登校してきたが、まだ教室へ復帰できない生徒の居場所を確保し、その際の支援を充実させる必要がある。

**今後の取り組み方針**

- ①学校内や関係機関、特にSSWと連携した体験活動の場の構築やそれに係る支援を行う。  
 ②不登校生徒の家庭との連絡を密にするため、SSWとの情報共有連携の強化を図り家庭訪問や登校支援を充実させる。  
 ③登校してきたが教室へ入れない生徒に対して教室以外の場所を確保し、対象生徒に合わせた教室復帰にむけた学習支援、体験活動、教育相談などの支援を充実させる。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
2,324	2,100	1,679	421	224



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、報酬と職員手当、共済費、旅費のみであり、支援員配置事業に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部課名	教育指導課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	発達障害等により特別な支援を要する児童生徒に対し、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、町内の各小中学校に特別支援教育支援員(教育サポーター、介助員)を配置した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	47,862	45,459	43,306	38,129	37,186
	(b) 予算現額	45,575	36,929	34,247	32,924	27,535	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 2,287	▲ 8,530	▲ 9,059	▲ 5,205	▲ 9,651	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	45,575	36,929	34,247	32,924	27,535	
	B. 執行済額	44,225	34,162	31,448	32,805	27,361	
	うち交付金充当額	35,380	27,329	25,158	24,815	21,888	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	97.0%	92.5%	91.8%	99.6%	99.4%	
予算の状況の説明		新型コロナウイルスの影響で休業期間があり、対象外期間があった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別支援教育支援員配置数 小学校:13人、中学校:5人		目標 ( 小学校20人 中学校8人 )	( 小学校16人 中学校7人 )	( 小学校13人 中学校5人 )	( 小学校13人 中学校5人 )	
			実績 小学校16人 中学校7人	小学校15人 中学校6人	小学校13人 中学校5人	小学校13人 中学校3人	
		目標 (                    )	(                    )	(                    )	(                    )		
		実績					
達成状況説明	小学校においては目標数の13名の支援員を配置し、対象児童生徒(小学校44名)に対し、授業等、学校生活におけるリズムを整えさせ、コミュニケーション力向上や学びに向かうための環境づくりの支援を行うことができた。中学校においては目標の5人に対し3名の支援員配置になり対象児童生徒(中学校17名)に対し十分な支援を行うことができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	対象となる児童・生徒の保護者へのアンケートで、特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 (                    )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(                    )
			実績	92%	82%	90%	
			目標 (                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
		実績					
進捗状況説明	対象となる児童生徒の保護者に対し、支援員の配置によって子どもの学校生活や学習上の困り感が改善されたかについてアンケートを実施したところ、「改善された」「どちらかというと改善された」の数値の合計が90%となり、目標を達成した。研修会を開催し講師より助言を貰うだけでなく支援員がお互いに意見交換しスキルアップに繋がる事ができた。						

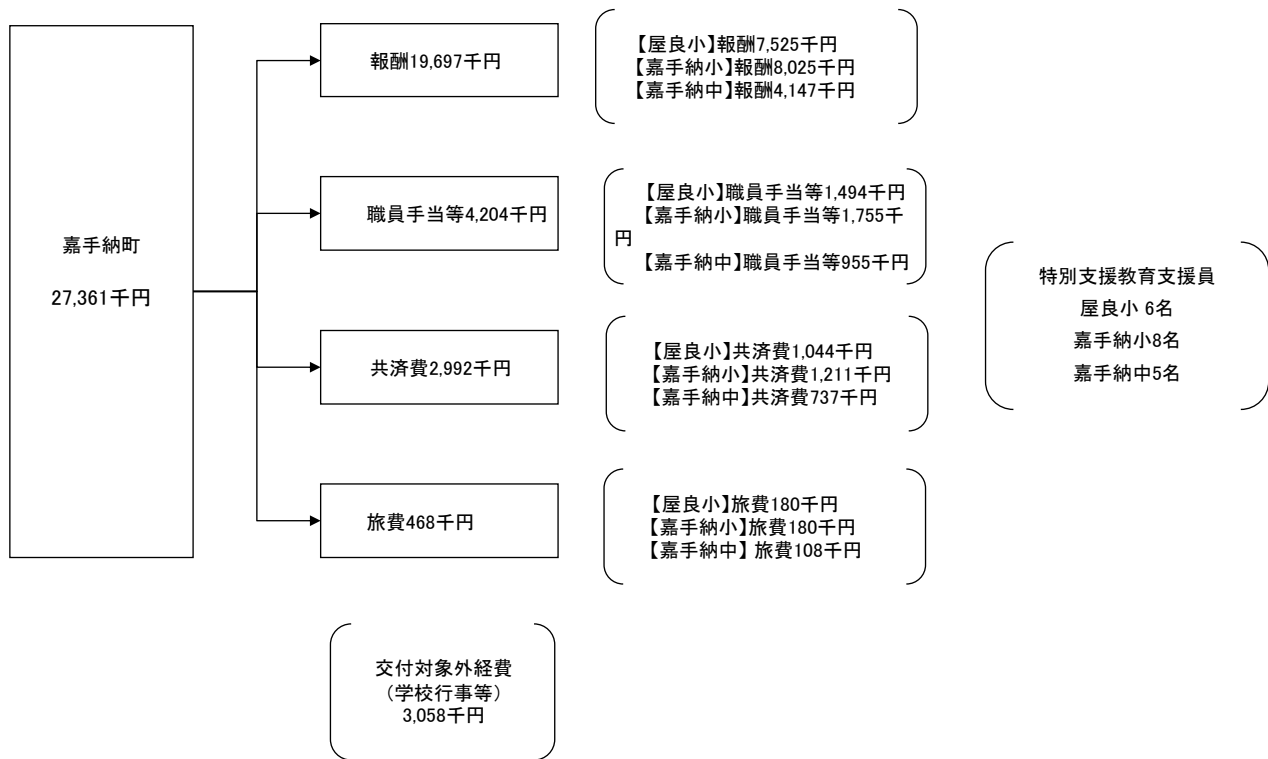
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①アンケートの記述欄には、教育サポーターの関わりについて概ね肯定的な内容が記されていた。今後の支援に係る要望として「子ども達の自立を促すための支援」があげられた。 ②毎年度数人サポーターが新規採用となり子供たちへの対応能力に差がある。	①子ども達が自立した学校生活を送ることができることを最終目標に、実態に合わせた適切な支援方法について、支援員のスキルアップを図る必要がある。 ②児童生徒の成長と共に、支援状況はたえず変化するので、継続して支援員個々のスキルアップのために、昨年度に引き続き研修会を実施し、さらに協議の場を設ける必要がある。

**今後の取り組み方針**

- ①研修会では「自立を促す支援」について協議を深めるとともに、講師による課題レポートへの助言を通して、支援員の資質能力や意欲向上を図る。  
 ②支援員個々のスキルアップのための研修を年に6回開催し、どの対象児も満足する支援を受けられるようにする。  
 ③サポーターが数人新規採用となるため教育委員会がサポーターの困り感や子供たちへの対応・理解などお互いに情報交換アドバイス協議ができる場を設定しスキルアップに繋げる。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
30,419	27,361	21,888	5,473	3,058



資金の 使途の 流れ、 点検、 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員は嘉手納町会計年度任用職員の給与等に関する条例に基づき採用した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についても同条例に基づき算定しており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、報酬と職員手当、共済費、旅費のみであり、支援配置事業に必要なものに限定されている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	雇用促進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部課名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援		
事業内容	就職相談窓口を開設し、就労支援を行うことで、新規就労者の増加を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	3,464	3,306	3,298	2,381	2,424
	(b) 予算現額	3,307	3,306	3,257	2,381	2,410	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 157	0	▲ 41	0	▲ 14	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	3,307	3,306	3,257	2,381	2,410	
	B. 執行済額	3,306	3,281	3,256	2,381	2,410	
	うち交付金充当額	2,645	2,625	2,604	1,903	1,928	
	次年度繰越額	—	—	—	—	—	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	相談窓口開設(毎週火・金曜日) 92日		目標 ( 95日 )	( 92日 )	( 90日 )	( 93日 )	
			実績 95日	92日	90日	92日	
		目標 (      )	(      )	(      )	(      )		
		実績					
達成状況説明	当初交付決定時では相談窓口開設日数を93日としていたが、特別措置法による祝日の移動に伴い、相談窓口開設日数が92日となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	相談者のうち、就職が決まった人数		目標 (      )	( 11人 )	( 8人 )	( 8人 )	(      )
			実績	7人	10人	7人	
	【参考指標】 相談者のうち、就職が決まった人数の割合		目標 (      )	( 5.5% )	( 4.5% )	( 3.4% )	(      )
		実績	2.3%	3.3%	2.0%		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘉手納町民の利用人数は延べ357人で、全体の80%であった。</li> <li>・就職した人数は7人で前年と比べ3人減となり、その割合は2.0%で目標の3.4%には届かなかった。</li> <li>・紙媒体による事業周知について、庁舎内の複数個所にチラシを設置した結果、相談窓口を知った媒体として役場訪問時という回答が前年と比べ9.7%の伸びとなった。</li> </ul>						

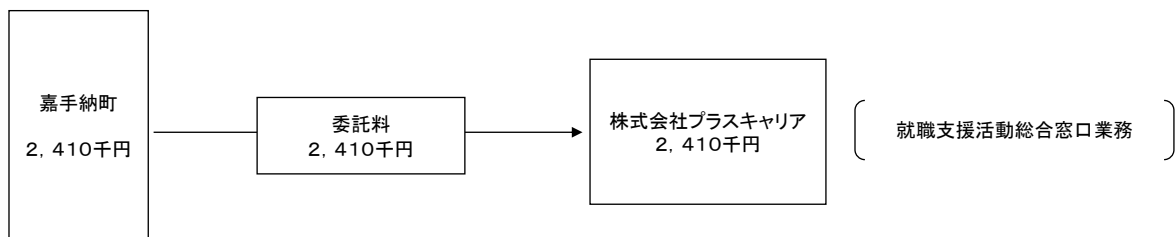
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査において、本事業を知った経緯のうち、最も多かったのは役場訪問時で48.6%、続いて広報誌が25.1%であることがわかった。</li> <li>相談分析において、長引くコロナ禍の影響による雇用保険の受給期間が延長されたことに伴い、現状維持を選択する方などの継続利用が多かったことがわかった。</li> <li>現在導入しているガイダンスツールについては、相談者の自己分析だけではなく、多くの職業を知り職業選択の幅を広げるツールとしても活用できていることがわかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙媒体による事業周知について、継続利用者への案内という側面が多くを占めている可能性があるため、新規相談者を取り込めるよう文言等を改善する必要があると考える。</li> <li>より多くの後追い調査が行えるよう、引き続き調査方法の検討・改善が必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- より多くの後追い調査が行えるような実施方法の検討。
- 新規相談者の関心を集めるための効果的な文言の検討及び新たなガイダンスツールの導入。
- ハローワーク及び町内事業者より求人情報を収集し、利用者へ情報提供を行い、利便性を高める。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,410	2,410	1,928	482	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、執行率95%以上であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	廃棄物リサイクル事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(2)-ア		
担当部課名	産業環境課	事業実施(予定)年度	平成25~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進			
事業内容	ごみの排出量を削減し、ゴミ処理施設及び最終処分場の長寿命化を図るため、本町で排出される草木を回収、チップ化し、再資源化を行った。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a) 当初予算額	11,831	11,928	13,837	13,393	13,437	
	(b) 予算現額	11,769	12,376	13,404	16,582	13,093		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 62	448	▲ 433	3,189	▲ 344		
	(d) 繰越額							
	A. 計(b+d)	11,769	12,376	13,404	16,582	13,093		
	B. 執行済額	11,742	12,384	13,026	15,228	12,051		
	うち交付金充当額	9,393	9,907	10,420	12,183	9,641		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)	99.8%	100.1%	97.2%	91.8%	92.0%		
予算の状況の説明		年度下半期に搬入された草木ごみが見込量を下回る結果422.4t→354.4tとなったため、執行率92%となりました。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施		目標	( 分別徹底の周知 )	( 草木の回収及び再資源化の実施 )	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	草木の回収及び再資源化(チップ化)の実施	
			実績	分別徹底の周知済	全草木ごみの再資源化済	全草木ごみの再資源化済	全草木ごみの再資源化済	
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
			実績					
達成状況説明	令和3年度の町全体の可燃ごみの17.72%の再資源化を達成しました。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	草木の再資源化(草木ゴミの処理量)665t以上/年		目標	(                    )	( 656t以上 )	( 616.8t以上 )	( 665t以上 )	(                    )
			実績		631t	799.42t	708.8t	
			目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )
			実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年度に破砕予定量を超えた草木ごみが搬入されたが、全てのごみを処理できたことから、リサイクラーの破砕時間/日を5.5時間、年間破砕見込量を844.8tに見直した。</li> <li>・草木ごみの搬入量が708.8tで当初目標処理量は達成したものの、見直し後の年間破砕見込量は下回る結果となりました。</li> <li>・搬入された草木ごみは、全て再資源化することができました。</li> <li>・年間破砕見込量を見直したことにより、入札の際の予定単価、入札単価が下落し、事業費の抑制を図ることが出来ました。</li> </ul>						

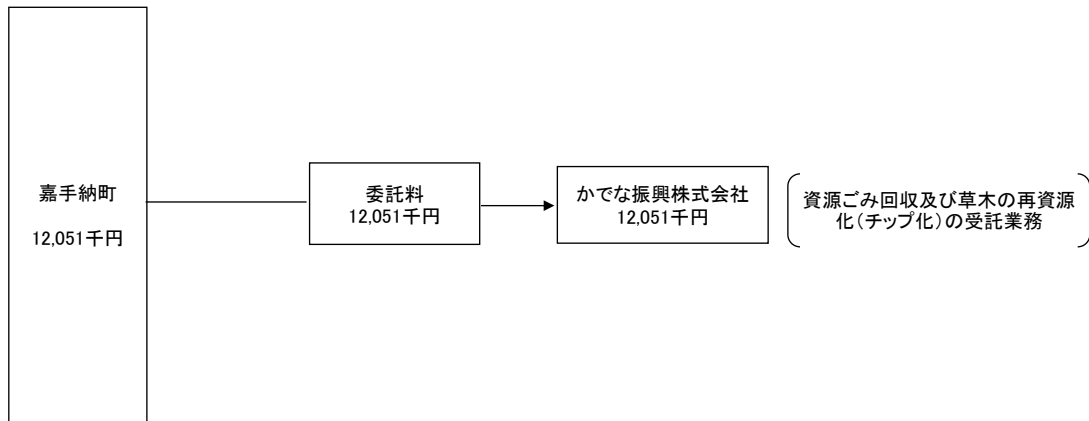
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	年間破砕見込量は令和2年度に検証した稼働時間を5.5時間/日と令和元年度に検証した破砕可能数量600kg/時間を乗じて算出しています。破砕する際の簡易破砕物(草や葉っぱ)と破砕困難物(枝や樹木)の割合を変えて1時間当たりの破砕量を比較し、6:4の割合で処理した場合に最適値である600kgを示したことから採用した数値であり、妥当性が高いと認識しており、積算においてより正確な事業費の組み立てが出来たものと思われます。しかしながら、今般の不安定な燃料費の状況を見ますと、事業費高騰が懸念されることが、機器の経年劣化による破砕量の燃料比の低下が懸念されます。	事業費高騰につきましては、社会情勢によるものであるため独自に改善可能な余地は無いものと思われます。しかしながら、機器の懸念劣化に関しましては、更新した場合は性能も上がるため事業費の更なる抑制に繋がることが見込めますが、高額なものであるため、近年増えている修繕費などを含め、現在使用している機器の更新の適当な時期を、定期点検時にメーカーと相談する必要があります。

**今後の取り組み方針**

これまで培われてきた破砕技術の情報の共有や、機材の修繕による稼働不可の時間を増やさないように、機材の状況の情報共有など受託事業者と連絡を密にとり、持続可能な事業実施に努めます。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
12,051	12,051	9,641	2,410	0



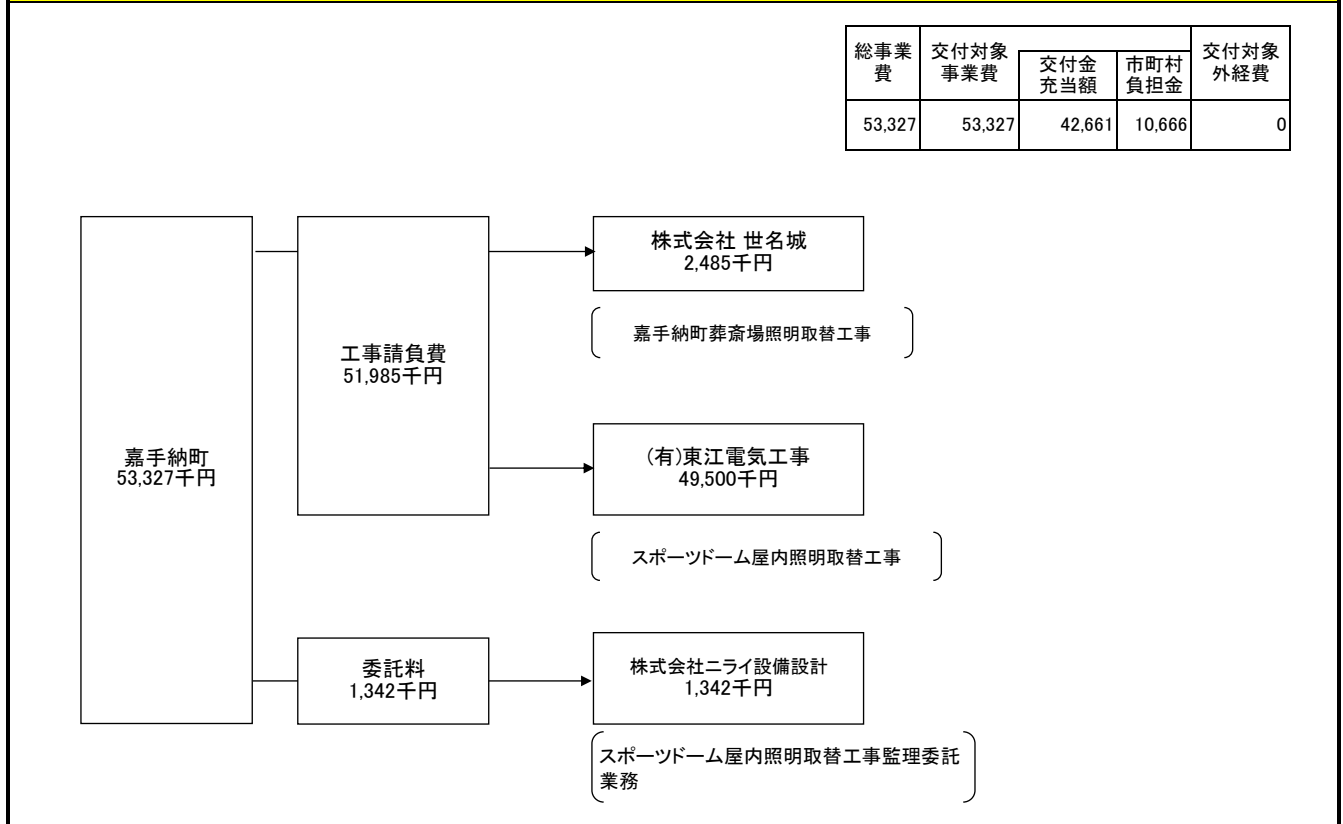
資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○回収業務は三社見積による随意契約、破砕業務は入札により支出先の選定を実施しており、妥当であると考えております。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○回収業務は一般廃棄物収集業務と比較し、破砕業務は本町で処分せずに民間に持ち込んだ場合の処理経費と比較し、予算規模につきましても妥当性を確認しております。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、毎月精算を実施しており、目的に即し、必要なものであったと確認した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		嘉手納町					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-① 嘉手納町公共施設省エネ化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-ア		
	社会教育課・産業環境課		事業実施(予定)年度	平成30年～令和3年度	地球温暖化防止対策の推進		
担当部課名			沖縄振興基本方針該当箇所		Ⅲ-10-(1)		
事業内容	照明機器の使用によるCO2の排出量を削減するため、公共施設等の照明を環境負荷の少ないLED照明に切り替えた。						
効果発現年度	■当年度 □後年度( 年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	46,156	119,200	31,440	53,330	
		(b) 予算現額	45,478	95,360	41,800	53,185	
		(c) 増減額(b-a)	▲678	▲23,840	10,360	▲145	0
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		45,478	95,360	41,800	53,185	0
	B. 執行済額		45,468	95,360	41,800	53,185	
	うち交付金充当額		36,374	76,287	33,440	42,548	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	嘉手納町総合福祉センター・嘉手納町地区コミュニティセンターの照明設備のLED化	目標	( 照明設備のLED化 )	( )	( )	( )	
		実績	照明設備のLED化を実施				
	公園施設等照明LED化推進工事実施設計	目標	( 実施設計 )	( )	( )	( )	
		実績	実施設計完了				
	嘉手納中学校屋内運動場照明設備のLED化	目標	( )	( 中学校屋内運動場照明設備 )	( )	( )	
		実績		中学校屋内運動場照明設備完了			
	兼久海浜公園ソフトボール場屋外照明設備LED化	目標	( )	( ソフトボール場屋外照明設備LED化 )	( )	( )	
		実績		ソフトボール場屋外照明設備LED化完了			
公園施設等の照明設備のLED化:11施設	目標	( )	( )	( 11施設の照明LED化 )	( )		
	実績			11施設の照明LED化完了			
スポーツドームの屋内照明器具のLED化:233台	目標	( )	( )	( )	( 照明設備のLED化 )		
	実績				設置完了		
嘉手納町葬斎場の照明設備のLED化	目標	( )	( )	( )	( 施設の照明LED化 )		
	実績				施設の照明LED化完了		
説明状況	当初予定通り、工事を実施し完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	R1年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 嘉手納中学校屋内運動場	目標	( )	( 2,290kg-CO2/年 )	( )	( )	( )
		実績		2,290kg-CO2/年			
	R1年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 兼久海浜公園ソフトボール場	目標	( )	( 5,410kg-CO2/年 )	( )	( )	( )
		実績		5,410kg-CO2/年			
	R2年度中に切り替える器具による二酸化炭素排出量の削減効果 11施設 1,266kg-CO2/年の削減	目標	( )	( )	( 1,266kg-CO2/年の削減 )	( )	( )
実績				1,266kg-CO2/年の削減			

成果目標 (指標) 及び進捗状況	【嘉手納スポーツドーム】 R3年度中に切り替える器具による二酸化炭素 排出量の削減効果 233台 44,846Kg-CO2/ 年の削減	目標	( )	( )	( )	( 44,846Kg-CO2/年の削減 )	( )
		実績				44,846Kg-CO2/年の削減	
	【嘉手納町葬斎場】 R3年度中に切り替える器具による二酸化炭素 排出量の削減効果 7.280t-CO2/年の削減	目標	( )	( )	( )	( 7.280t-CO2/年の削減 )	( )
		実績				7.280t-CO2/年の削減	
説 明 状 況	照明器具の切り替えにより、嘉手納スポーツドームで44.846トン、嘉手納町葬斎場で7.280トンの削減により、目標としていた二酸化炭素排出量をそれぞれ削減できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>CO2削減のため、機器の切替を行ったが、利用者の節電対策が必要である。</li> <li>第2次嘉手納町地球温暖化防止実行計画で策定したCO2削減目標に向けた取組をしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2次嘉手納町地球温暖化防止実行計画で策定した温室効果ガス(CO2)の排出削減に向けては更に削減努力をする必要がある。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も嘉手納町地球温暖化防止計画目標(3,439,027kg-CO2)の達成に向け、町全体で継続してCO2削減を推進していく。</li> <li>日頃から施設管理者で不必要な箇所の消灯を徹底するとともに、利用者に対しては不必要な箇所の消灯について呼びかけ、周知を行うことで、照明の点灯時間の削減を行うなど、節電対策の取組を継続して実施する。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、契約金額内であるため適正と判断した。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	